

東能勢中学校区 義務教育学校開校に向けた学校説明会  
 質疑応答要旨(令和7年7月26日・29日)

※質問・回答とも要旨を記載しております。  
 ※本説明会の趣旨に関係するもののみ掲載しております。

No.	項目	種類	質問内容	回答内容
1	保 幼 小 中 一 貫 教 育	質問	ふたば園との交流について具体的に教えてほしいです。現在校舎が違いますが、具体的にどのようなことができるのですか。	<p>保育所・幼稚園・こども園と小学校をつなげていく教育をこれまでも行ってきました。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の前期学部との交流を定期的に行い、入学したときにスムーズに進めるようにしています。</li> <li>・ふたば園から取り組んでいる「とよの未来科」については、学びをつなぎ、小・中学校で取り組んでいます。</li> <li>・就学前と小・中学校の教育について、それぞれの発達段階で何を大切にしてきたかなどを共通理解する研修会を実施しています。</li> <li>・小中合同運動会にふたば園の園児も参加しています。</li> <li>・児童生徒が、ふたば園の園児と交流できる機会を増やしています。例えば、入学後のきょうだい学年につなげるため、3年生と年長児、2年生と年中児、1年生と年少児が交流学习を行っています。</li> </ul>
2	東西間交流	質問	デメリットとして、東地区は1学年10人程度になっていきます。クラブ活動での東西間交流など、もう少し交流の機会を増やすことはできないですか。	<p>現在も、初谷川での東西交流など、同学年での交流を進めています。学年によっては、文化芸術鑑賞会を西の3小学校と合同で開催し、交流を行っています。</p> <p>また、タブレットが導入されましたが、オンライン上では、全国・世界とつながることができます。これからは、オンラインを活用して、学びを深められるような交流を行いたいと思います。昨年度は、オンラインで広島県江田島市の小学校と、それぞれの地域の良さを伝え合う交流を行いました。山の良さ・海の良さを伝え合う交流となりました。いろいろな所といろいろな形で交流を進めていきたいと考えています。</p>
3	異学年交流	要望	性格によっては、上下関係の交流がない方がいいと思います。特に、男子は1年ごとで体力が違うので、その時々(構成の内容)によって考慮してほしいです。	<p>義務教育学校の大きな魅力は、9年間という長い時間をかけて、様々な年齢の子どもたちが一緒に関わることができることです。</p> <p>年齢差のある子どもたちが一緒に生活することにより、上級生には下級生を思いやる心が育まれ、下級生にとっては上級生は憧れのモデルとなり成長を促すことに大きな効果があります。</p> <p>交流が苦手なお子さんや負担に感じている様子のお子さんには、安心して参加できるよう配慮をしていきます。</p>
4	移転	質問	いったん中学校に行き、小学校に移るのは何年後か。衛生面・安全面で心配です。小学校校舎に移る際の校舎については、どうなるのか。	とよの東学園は、令和8年4月、現中学校校舎でスタートします。2年間で設計図を作り上げ、令和10年度に工事をし、早ければ令和11年4月に現東能勢小学校校舎へ移転する予定です。
5	標準服	要望	制服の襟付きのシャツは、現在、ポロシャツが認められていません。ポロシャツを可にしてほしいです。	標準服の着方の約束は、児童会・生徒会と話し合い、決めていく予定です。子どもたちも、同じようなことを考えている可能性もありますので、今後一緒に考えていきたいと思えます。変更になったら、報告させていただきます。

6	給食	質問	吉川中学校から運ぶ給食の温度はどうなりますか。給食当番などの配膳については、どのようにになりますか。	令和8年4月からは、西地区で作った給食を東地区へ配送します。食品衛生法に則った形で配送します。東能勢中学校で受け取った後、配膳します。吉川中学校を出発後、おおむね30分から40分かかりますが、温かい給食を提供できます。
7	部活動	要望	部活動については、来年は、これまでどおりと聞いた。今後は、東西共通にするということも検討してほしい。	学校での部活動については、地域に移行し、地域で行うことが国の方針で示されています。近隣市町も地域移行し、民間のスポーツセンター等を利用した地域展開が進められています。 豊能町は、今後、一定の期間は、学校で、平日・休日ともに現行通りの部活動の場を提供していきますが、並行して、休日において、地域クラブ活動への移行を試行的に進めていきたいと考えています。将来的には、平日の活動の地域展開も視野に入れていきます。 部活動については、生徒が少ない状況をどのように打開していくのかが、課題です。西地区と一緒にできるのか。色々な選択肢をふまえて、しっかり考えていきます。
8		質問	部活動のスタートのタイミングは何年生か。	これまでと同様の7年生からで考えています。
9	ダリ 	質問	4年生・7年生の学部リーダーのイメージを教えてください。	教育活動のすべてを「4・3・2」で区切っていくわけではありませんが、学部ごとのまとまりで活動することも多くあります。4年生が1～4年生のリーダー、7年生が5～7年生のリーダー、8・9年生は学校全体を見ていくリーダーとして活躍できる場を設定していきます。
10	育成室	質問	留守家庭児童育成室について、場所は今のままでしょうか。	令和8年度は、現在の東能勢小学校運動場にある施設を使用します。
11		質問	留守家庭児童育成室は部屋が、新しくなることはありますか。	今現在、建て替える予定はありません。
12	全般	質問	今後、転入してくる予定です。転入した際も、配慮していただけますか。	基本的に教育課程は、学習指導要領に基づいて行っています。これまでにも、転入生はたくさん受け入れてきています。義務教育学校になっても、これまでと同じように新しい学校生活を円滑に始められるよう、丁寧にサポートしますので安心して転入してください。
13		要望	義務教育学校のメリットは理解しました。デメリットに関して、やはり、自分の子がいじめられたら、しかも1年生でいじめられたら、これが9年生まで続くのかと思うとゾッとしました。もし、いじめられたら、誰がどう助けてくれるのか。誰に相談すればいいのか。いじめた子を西地区や他へ飛ばしてくれるのか。やはり、いじめられた側が出ていけないといけないのか。東地区と西地区の連携も大事ですが、いじめに対して特化した人、組織を置いてほしい。	9年間変化の少ない少人数の人間関係では、より早い段階からの「よりよい集団づくり」が重要になります。児童生徒どうしの結びつきだけでなく、教職員、保護者、地域の方々を含めた大きなコミュニティとして学校を捉え、温かく、安心できる集団を育てていきたいと考えます。 学校は、「いじめ防止基本方針」を策定し、いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応を目的とする「いじめ対策委員会」が設置されています。この組織は、管理職、生徒指導担当、養護教諭、学級担任等で構成され、必要に応じて、心理や福祉の専門家であるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも参加し、多角的な視点からの対応を組織で検討します。
14		要望	子どもたちの人数が減ってきています。少人数を生かした最大限に魅力的な学校をつくっていただきたいと思えます。	義務教育の9年間を一貫して学ぶことができるこの新しい教育のかたちは、義務教育の修了時までの見通しをもって、9年間という長いスパンで子どもたち一人ひとりの成長をより丁寧に見守り、スモールステップで子どもたちの力を伸ばしていくことができます。これから始まる新しい学校生活が、子どもたちにとってかけがえのない経験となり、これからの社会をたくましく生き抜くことができる力を育成できるよう、尽力します。
15		意見	少子化で、物理的インフラを縮小効率化していかなければならない運命で、不本意なこともあるものの、なんとか最適解をみつけてくれてありがとうございました。	